

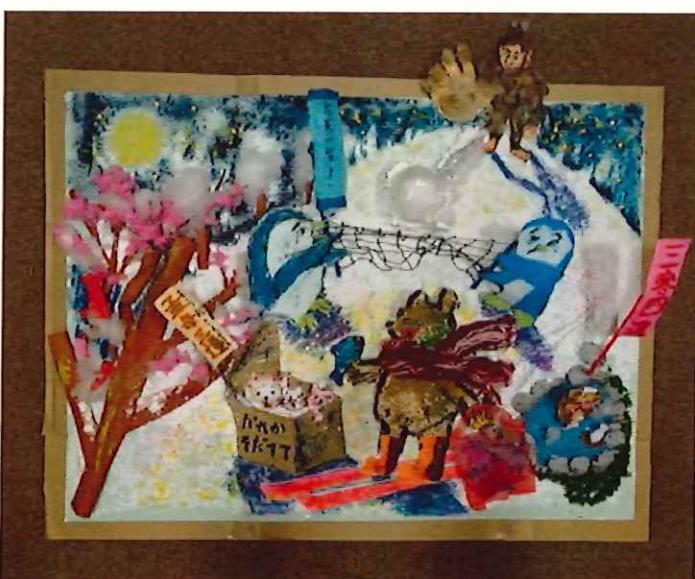
# ゆうあいにょい

No181

令和5年(2023年)5月22日発行

障害者支援センター  
かしのきの里  
在宅障害者デイ・サービスルーム  
書写障害者デイサービスセンター  
広畠障害者デイサービスセンター  
障害者やすらぎルーム 障害者体育館

あぼしリサイクル事業所  
ぱっそ・あ・ぱっそ



タイトル

ゆきやま き き いっぱい  
雪山 嬉々一発！

広畠障害者デイサービスセンター

利用者共同作品

広く活動内容を知っていただくために、利用者の写真を多く掲載しています。  
掲載写真は、ご本人の了承を得たうえで使用させていただいている。

## 強度行動障害支援特化チームを創設して

障害者支援センター 活動作業グループ 中川明美

障害者支援センターの生活介護「活動作業グループ」は障害特性に応じて、「活動班」「個別作業班」「軽作業班」の3班に分かれています。それぞれの班には、いわゆる強度行動障害と分類される、激しい行動障害がある方も所属されています。

強度行動障害のある方の支援は一筋縄ではいかず、基本的な知識や技術はもちろんのこと、本人との関係の構築や、気分の変調などの観察力、言葉を使わないコミュニケーション力など、多様な力が求められます。

しかし、職員の経験年数等によっては上記のような対応が難しい場合も少なくありません。その場しのぎの関わりになってしまふこともあります。これらがくり返されると、支援の迷いや停滞につながり消極的な支援に陥ってしまいます。利用者にとっても、十分でない支援体制の中で安心できなかったり、対応する職員によって支援が違うなど、混乱の原因にもなってしまいます。

利用者本人が安心して充実した生活を送れるようにという思いから、3つの班から対象者を選定し、令和3年度に強度行動障害支援に集中して向き合える環境を整えた、強度行動障害支援特化チーム（以下、特化チーム）を活動作業グループの中に創設することになりました。

### 空間の構造化

特化チームを始めるにあたって、まずは環境を整えました。部屋は軽作業室横の部屋を活用しました。

部屋はシンプルに作業机、棚、休憩用ソファーのみを配置し、パーテーションでそれぞれ個別の空間に区切り、周りの情報を統制しました。ガラス窓には目隠しシートを貼り、壁には防音処置を施し、余計な情報が入らないように環境を整えました。



### 時間の構造化、習慣化

スケジュール（右表）はチャイムの音で区切りました。作業時間は集中できるように無音にし、休憩時間はソファーでゆっくりできるようにリラックス音楽を流すなど、音で時間を切り替えるようにしました。

また、作業については集中が続く45分間で区切り、休憩の15分間と合わせて3セットを組み立てました。

午前は作業、午後は活動班と一緒に音楽やレクリエーションなどの活動プログラムに参加、その後、往復約3kmの山登りを日課としています。山登りでエネルギーを発散した後は心身ともにクールダウンできるリラクゼーションの時間を確保し、帰宅前に気持ちを整えてもらっています。

### 特化チームスケジュール

8:45~9:00	登所、更衣
9:00~9:45	朝礼、ラジオ体操、作業①
9:45~10:00	休憩
10:00~10:45	作業②
10:45~11:00	休憩
11:00~11:45	作業③
11:45~13:15	昼食、休憩
13:15~14:00	活動プログラム
14:00~14:15	休憩
14:15~15:30	山登り
15:30~15:40	リラクゼーション
15:40~16:00	更衣、降所準備
16:00~16:05	終礼、降所

毎日同じ日課を繰り返すことで、生活リズムを安定させ、見通しをもって生活できることを目指しています。どんなに気持ちが崩れても基本的にはスケジュール通り過ごすことが必要だと考え、気持ちの切り替えを図る工夫をしています。

### グループダイナミクス

構造化で環境を整えた上で小集団で一日の日課を送る「集団の力」を活用したグループダイナミクス（※）の理論を取り入れました。他の利用者の姿を見て、同じように動けることが多くなりました。

特化チームを始めるにあたって、いくつかの心配する声があったのも事実です。激しい行動障害のある人たちが同じ部屋で過ごすという点で、一人が不穏になった時にその他の人にまで影響を及ぼし、不穏の連鎖にならないのかといった心配がありました。それについては、たしかにお互いの声や動きは影響を及ぼしますが、ネガティブな連鎖だけではなく、グループダイナミクスのようにポジティブな連鎖もたくさんあり、よい意味でお互いに影響しあっているのではないかと感じています。



採血の練習の様子

令和 3 年度のスタートは意外なほどにスムーズでした。「最初が肝心」と職員同士でしっかりと情報共有し、支援方法を徹底しました。利用者も迷いのない私たちの関わりに安心したのか、新しい環境でも落ち着いて作業や活動に取り組むことができました。私たちが思い描いた集中的な支援、徹底したチーム支援が実践できたと考えます。そして、2 年目に入った令和 4 年度には、1 年間で積み上げてきたことを基礎に、地道な支援を続け、利用者のさらなる生活の安定を目指しました。具体的には、日々記録をとり、それぞれの利用者の障害特性に応じた支援のあり方を分析し、実践、検証を繰り返し、支援方法を確立してきました。

そして、3 年目にあたる今年度、特化チーム以外の職員とも同じように利用者が安心して生活できるように、支援者を広げていくことを目標にしています。支援方法を伝達したり、直接現場の中でサポートしながら支援者の育成に取り組んでいるところです。

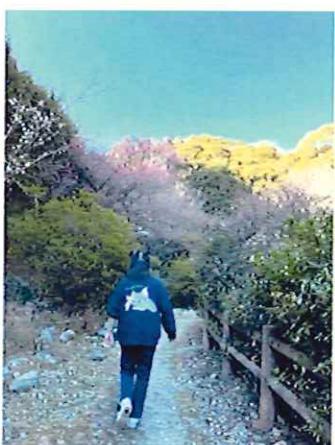
安心して毎日の生活が送れることで、利用者にも様々な変化が現れました。これまで、作業に取り組むことが難しかった方が、毎日落ち着いて2 時間以上作業に取り組めるようになりました。また、毎日の山登りで運動を続けたことで、大幅に体重が減少した方もいます。そして何より、本人が安心して過ごせる場所や人を整備したことで、自傷他害行為が激減しました。環境整備でかなりの行動障害の予防ができていること、行動障害に発展しても、複数の職員が役割分担して

対応することで、気持ちの切り替えが早くできるようになり、利用者本人が自分の気持ちをコントロールできるようになりました。ご家族ともご本人の変化を共有しながら、支援方法や次のステップについて、一緒に考えていただいている。

特化チームになってから、しんどいはずの毎日の山登りに、利用者も職員も楽しそうに出かけて行く姿がほほえましくもあります。山で虫探しをしたり、捕まえた虫を育てたり、利用者と職員が楽しさを共感できることが何よりうれしいことです。

これからも、落ち着いて作業や活動に取り組めている成功体験を積み重ね、数年後には元の班に戻り、みんなと同じ空間で充実した生活が送れることを目指していきます。

※「グループダイナミクス」とは心理学者のクルト・レヴィンによって研究された集団力学のことで、集団において人の行動や思考は集団から影響を受け、集団に対しても影響を与えるという集団特性のこと。



## 定期検診で口の中の健康を守ろう

歯科衛生士 内平 亜由美  
歯科衛生士 松岡 和恵

こんにちは。毎年、兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院の学生実習でお世話になっております指導歯科衛生士の内平、松岡です。

私たちは、障害のある方にも適切な口腔ケアを提供することを目的として、精力的に取り組んでいます。今回は、私たちが実習で実際に利用者の方々の口の中の状態を見せていただき、感じたこと、また定期検診の大切さについてお伝えしたいと思います。

私たちが実習を通じて 1 番に感じたのは、「もっと歯科医院を活用してもらいたい、気軽に相談してもらえたらしい」ということです。

健常者であっても、完璧に口の中の汚れを落とすことは難しいと言われています。また、むし歯も歯周病も進行すると健康な状態に戻すことが難しくなります。病気になる前の予防や専門家による定期検診は、口の中の健康を守るために欠かせないものです。

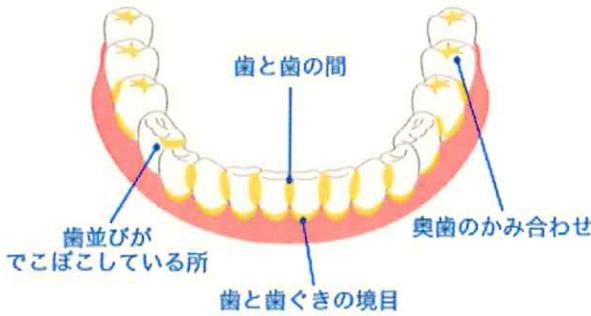
発信が難しい障害の方であれば、なおさら痛みや症状があっても本人からの訴えがないと気づきにくい場合もあると思います。そういう口の中の変化のチェックのためにも、ぜひ歯科医院を受診して健康な口腔内環境を維持しましょう。定期検診は、1 年に 1 回以上の受診が望ましいとされています。もちろん初回から治療ができない大丈夫です。チェアが倒れることに慣れたり、器具を口の中に入れる練習だったり、むし歯の本数を調べてもらうだけでもいいと思います。歯科医院への通院に慣れるのを目指にしてみて下さい。

新しい歯科医院ではバリアフリーや個室の設備が整っている場合が多いと思いますので、不安な点はぜひ来院前の予約の際に電話で尋ねてみて下さい。また、姫路市歯科医師会館口腔保健センターでも対応しております、詳しくは姫路市障害福祉課が窓口となります。はじめの一歩はハードルが高く思われるかもしれません、かかりつけの歯科医院ができると困り事を一緒に考えててくれる頼れる人が増えるという利点があります。

次に、家で磨くときのポイントです。奥歯の噛み合わせの溝、歯と歯の間、歯と歯ぐきの境目に汚れが残りやすいとされていますので、このような場所に届きやすいタフトブラシ（下図参照）がお勧めです。歯並びがでこぼこしている所にも使用できます。歯科医院や薬局で購入できますので、歯ブラシと併用してぜひ使ってみてくださいね。

一生涯、食事を美味しく食べ続けられる幸せを噛みしめていきましょう。

皆様の健口（けんこう）のお手伝いができますように。



汚れが残りやすいところ



タフトブラシ

引用：日本歯科医師会「歯の学校」2021.vol.72



## 『障害者支援センターの給食について』

障害者支援センター 栄養士 岡崎由有香

美味しい食事と和やかな時間は心と体の栄養となり、豊かな人生をもたらしてくれます。私たちはその大切な食事を提供する者として「安全で美味しく楽しい食事」を目標に、日々工夫を凝らした給食提供をしています。

利用者の中には、体調変化や摂食機能の未発達、偏食、健康管理への配慮を必要とされる方が少なくありません。そのため、カロリー制限食や塩分制限、食事形態、好き嫌い、アレルギーへの個別対応をしています。咀嚼（かみ碎く機能）や嚥下（飲み込む機能）が難しい方には、刻んだり、とろみを付けたり、軟飯にして提供します。



左の写真は主菜のえびマヨです。左上から時計回りに①カロリー制限 ②一口大 ③一口小（みじん切り）④えびアレルギー対応です。カロリー制限食は、揚げずにオーブンで焼いています。そうすることで  $330\text{kcal} \rightarrow 210\text{kcal}$  までカロリーが低くなります。また一口小には、だし汁にとろみを付けたものを適量かけてまとまりやすくし、誤嚥を防いでいます。えびアレルギーは鮭を代替食品にしています。

また「こだわり」による偏食や食べにくい、食べたくないものがある場合、その食品の除去や代替食を提供しています。アレルギー対応も含め、チーズ嫌いや辛いもの嫌いなど現在は約30種類ほど対応しています。

箸やスプーン、フォークなどについては、持ちやすく食べやすいように作られた自助具を準備しています。お皿を持って食べにくい場合には、お皿の下に滑り止めシートを敷いたり食べ物をくいやすいように傾斜のついたお皿を使うことで改善されます。自立がひとつの目的なので、なるべく自分の力で食べられるように支援しています。



献立内容は四季折々の食材を使って季節を感じながら、栄養面だけでなく、食欲が湧くような彩りや見た目も工夫しています。様々な食材がいつでも買える時代ですが、旬のものを旬の時期に食べるのがやっぱり美味しい！できる限り季節に合った食材を使って、行事食を毎月提供しています。

食堂で利用者に話を伺うと、「おいしい！」「やっぱり野菜は苦手」「初めて食べたけど、また出して」「今度〇〇が食べたい」などいろんな感想が聞けて、リクエストを受けることもあります。そのリクエストも参考にしながら、月に3~4回選択食を実施しています。例えば、デザートでは豆乳プリンか抹茶小豆ゼリーかどちらかを選んでもらう献立を用意しています。どちらにしようかとわくわくした気持ちが伝わってきて、次はどんな選択食を提供しようかなと想像が膨らみます。また免疫力UPメニューや夏バテ解消メニュー、血液サラサラメニューなど特定の栄養素を強化した献立も提供し、飽きのこない内容豊かな献立作りを心掛けています。

利用者の喜ぶ顔が私たち給食部の何よりの励みです。今後も利用者の健康状態や摂取機能に配慮し、食事時間を楽しんでいただけるような給食提供に努めていきます。

## 2023年度のスタッフ紹介



【障害者支援センター】所長:高橋 晃 副所長:鷹谷直樹

訓練グループ	自立訓練班	粟田瑞希 篠原 彩 中安佑歌
	就職訓練班	鷹谷直樹 谷口奈緒子 山末由美子
就労グループ	製菓班	浦川 耀 本間なつみ 山田慶子
	喫茶班	ぴあの ぴあ～の： 木村 碧 合内美佳 南川溶子 あっと・ゆ～る、ふれあい： 西口若菜 陶山美穂
	洗車班	鷹谷直樹（兼） 奥田祐也
	作業第一班	前田真織 藤本健吾 大畠和美
	軽作業班	時村暁彦 船曳 謙 稲垣まどか
活動作業グループ	個別作業班	小林大介 林田奏恵 岡本隼並 武田朋子 塩井千恵美 北条恵子 伊藤美鈴
	活動班	中川明美 渕上 玲 坂口雄一 西本弥生 三谷菜々香 鈴木ありさ 富岡美帆 藤田裕司 島田眞梨子
総務グループ	事務・用務	大野萌絵 溝垣智草 出崎聖子
	栄養士・調理	岡崎由有香 藤原京子 延澤友香 内田信子 藤田宏美

【かしのきの里】園長:原田賢哲

クリーン作業・陶芸班	野上慎一郎 平野 潤 河谷拓真 森上かおる 安藤 勝 長谷川英史
就労移行班	立花知加子 栗岡由実
事務・給食・用務	金谷由美 森 留美子 三浦 攝 名村裕美

【あぼしりサイクル事業所】所長:原田賢哲(兼) 副所長:伊藤文繁

	秋竹展樹 安井大悟 藤岡菜都美 藤岡 舞
事務	金谷由美(兼)

【在宅障害者デイ・サービスルーム】室長:堀内泰介

	中川繭子 田中美保
事務	大野萌絵(兼)

**[書写障害者ティーサービスセンター] 所長:山崎奈保美**

A班	牛尾将人	小田健司	梶本聖子	前田咲希美
	安國奈央(育)	原 和美	大江貴宏	登里和明 中島千恵子
	戸田 紗	野中麻衣	河野由紀	
B班	安藤 希	玉谷拓洋	伊吹雅恵	
事務・給食	朝比奈政美	國司弘江(兼)	岸上瑞江	田枝智奈美

**[広畠障害者ティーサービスセンター] 所長:竹田公子**

	土屋 敦	東 陽介	中村浩子	平田桃香	高尾博志
	田中裕美	鈴木 旋	福井美樹	伊藤衿子	井上恵子 鷹谷とも子
事務・給食	國司弘江	村中巳佐子	瀧北 薫		

**[ぱっそ・あ・ぱっそ] 所長:濱 亜紀子**

相談支援	崎岡和幸	万永章宏	八木亜由美	矢内真季子	尾形 愛	大江なつみ
	西田純子	岸本優子	江見陽子	丸山美保		
事務	山本和美	清水美香(兼)				

**[障害児療育関係事業] 事業長:堀内泰介(兼)**

事務	委託事務	清水美香	二宮一菜
	診療事務	藤田圭子	濱本利恵 荒尾裕子
給食・用務		壺さおり	中根奈津子 大久保麻紀 八田英奈 宗俊聰子
保育	さくらんぼ保育	辻本 幸	西川朋子 井上綾子

**[障害者やすらぎルーム] 室長:堀内泰介(兼)**

	森下明代	渡邊有希美
事務	清水美香(兼)	

**[障害者体育館] 館長:堀内泰介(兼)**

事務	清水美香(兼)
----	---------



# ルネス花北成人部事業所一覧

## 姫路市立 障害者支援センター（多機能型）

〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1

TEL 079-282-2384

FAX 079-224-6751

就労移行支援	就職訓練班
自立訓練	自立訓練班
就労継続支援B型	喫茶班「café ぴあのぴあ～の」「café あっと・ゆ～る」「ふれあい」 製菓班「クッキー工房 檸の詩」・洗車班・作業第一班
生活介護	軽作業班・個別作業班・活動班

## 姫路市立 かしのきの里（多機能型）

〒671-2246 姫路市打越 1352 番地 6

TEL 079-267-0202

FAX 079-267-0445

就労移行支援	就労移行班
就労定着支援	
就労継続支援B型	クリーン作業・陶芸班

## 姫路市立 書写障害者デイサービスセンター

生活介護 〒671-2203 姫路市書写台二丁目 7 番地 1

TEL 079-267-2636

FAX 079-267-2794

## 姫路市立 広畠障害者デイサービスセンター

生活介護 〒671-1116 姫路市広畠区正門通三丁目 2 番地 2

TEL 079-239-1888

FAX 079-239-1898

## 姫路市立 在宅障害者デイ・サービスルーム

地域活動支援センターⅡ型 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1

TEL 079-282-2384

FAX 079-224-6751

## 姫路市立 障害者やすらぎルーム

障害児・者一時保護施設 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地

TEL 090-2598-9237

FAX 079-224-3173

## 姫路市立 障害者体育館

体育施設 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地

TEL 079-288-7122

FAX 079-224-3173

## あぼしリサイクル事業所

就労継続支援A型 〒671-1236 姫路市網干区網干浜 4 番地 1 エコパークあぼし内

TEL 079-273-8889

FAX 079-273-8870

## ぱっそ・あ・ぱっそ

相談支援事業所 〒670-0955 姫路市安田三丁目 1 番地 姫路市総合福祉会館 2 階

TEL 079-240-6702

FAX 079-240-6705

ゆうあいだより No.181 令和5年(2023年)5月22日発行

発行 姫路市総合福祉通園センター成人部

編集 「ゆうあいだより」編集係